

成果指標等の構成変更イメージ

総合計画審議会からの意見を基に、次のとおり「成果指標」・「関連する主なSDGs」の構成の変更を行った。

1 成果指標

○ 指標の名称を

「取組の方向」との関連性がわかりやすい

市民がみてわかりやすい

上記、二つの観点からの名称とし、場合によっては名称を併記。

○ 指標の説明文を「目標値設定の考え方」から、「取組の方向と成果指標の関連性」の説明に変更。

目標値設定の考え方は、付属資料として次期総合計画の巻末に一覧を掲載予定。掲載イメージは

「第5回総合計画審議会 資料2-2」を参照。

第2回総合計画審議会 事務局案（施策17）

成果指標

	指標と説明	基準値 (平成30年)	中間目標 (令和5年)	最終目標 (令和9年)
	住んでいる地域の防犯力が高いと感じている市民の割合 対応する取組の方向 1 出典 市民アンケート			増加
	市民アンケート調査において「そう思う」と回答した人の割合が毎年〇%増加することを目標として設定しました。			
	市内での高齢者の交通事故件数 対応する取組の方向 2 出典 独自調査			減少
	市内の高齢者の交通事故件数を毎年〇%減少することを目標として設定しました。			

修正イメージ（施策17）

成果指標

	指標と説明	基準値 (平成30年)	中間目標 (令和5年)	最終目標 (令和9年)
	地域防犯力の満足度 (住んでいる地域の防犯力が高いと感じている市民の割合)			増加
	市民の地域防犯力の満足度について測ることで、地域防犯力を見る指標 (対応する取組の方向 1)			
	市内での高齢者の交通事故件数			減少
	交通事故の割合の高い高齢者の交通事故件数を測ることで、交通安全対策が推進されているのを見る指標(対応する取組の方向 2)			

2 SDGs（持続可能な開発目標）

- 表題を「関連する主なSDGs」から「施策とSDGsの関連」に変更。
- 以下の考え方を基に、ゴール・ターゲットについて再検討。なお、掲載するゴールは1施策あたり6つまでとした。

対応するゴールには、施策の取組の方向とゴールの趣旨が合致するものを抽出
 ターゲットには、 で抽出したゴールのうち、対応するターゲットを掲載
 関連する主なゴールには、施策推進の効果により副次的に推進が見込まれるものや相互に達成することが求められるもの、施策推進のために推進が必要となるものを抽出
 施策とSDGsの関連は、付属資料として次期総合計画の巻末に一覧を掲載予定。掲載イメージは参考資料1を参照。

第2回総合計画審議会 事務局案（施策1）

関連する主なSDGs



修正イメージ（施策1）

施策とSDGsの関連

対応する ゴール		ターゲット	1.2, 3.1, 3.2, 3.7, 3.8, 4.2, 4.5
		関連する 主なゴール	

「子育て支援の充実（取組の方向2）」の
 子どもの貧困対策はゴール1に対応

「子育て支援の充実（取り組みの方向2）」は
 親の働く場・働く意識の創出に
 繋がることからゴール8に関連する